

地場産業再生支援プロジェクト

伝統工芸産業界ならびに公設試験研究機関と連携した研究会活動を主催し、地域資源を活用した新商品の試作開発を支援し、新事業創出を推進した。

「酒器研究会」において、仏壇の工芸技術を活かした酒器の製品化支援を行った。仏壇工芸の総合力を活かした装飾技法の追求を酒器開発の指針としており、本年度は鍔金具を主な装飾技法とする酒器試作を実施した。さらに、欧州でのテストマーケティングを支援いただける企業を訪問して、海外マーケティングを実施するための準備情報を収集した。



酒器研究会における試作例

また、「ANDON 研究会」を主催し、担当企業と滋賀県工業技術総合センターと連携して、電子ディスプレイを光源とした和紙応用照明（商標登録 ディスプレイアンドン）の試作開発を進めた。本年度は、商品化に向けて構造の見直しを行うとともに、展開型のデザインに向けた最適な和紙の厚み、最適な折り目段数を検討した。



ANDON 研究会における試作例

さいごに「地場産業再生研究会」を地場産業再生 MOT フォーラム（2018年2月開催）に合わせて開催し、金沢工業大学感動デザイン工学研究所の神宮英夫教授のほか、フォーラム講師の方々をお迎えして、新商品・新事業の開発に関する意見交換を行い、今後の研究会活動への反映を図った。



「地場産業再生研究会」の出席者

（文責 客員教授 山本 卓）